

平成 17 年 6 月 16 日

学連関東支部・安全対策検討会

「シラバスを含むトレーニング体制」ワーキンググループ報告(確定版)

1. 目的

久住の事故を受けて関東支部にて開催されている安全対策検討会議の方針に基づき、当WGでは安全対策を含む練習内容の各校均質化を図るため、訓練シラバス及びトレーニング体制の共通化を検討します。

2. WGメンバー

下平(中央)、大野(理科大)、津久井(東工大)、竹嶋(慶應) (以上敬称略)

3. 検討方法

- (1) Eメールによる情報交換、資料作成
- (2) ミーティング開催(6月10日)

4. 検討結果

(1)学連訓練シラバスの制定について

2001年に支部運営委員会・訓練部会で作成された訓練シラバスは、自家用操縦士指定養成施設に入所するまでの各校の訓練を統一することを目的としています。これをベースに普及版の制定と利用の徹底を図ることとし、以下の方策を実施します。

学連の訓練シラバスとして制定し、トップダウンにより全支部、全校、全教官・学生に使用させる。

(なお、自家用操縦士免許取得後の練習体系は各校独自のシラバスに委ねる。)

上記のため、より使い易いシラバスとすべく、以下の見直しを今後WGで実施する。

ア)表形式で、見やすくボリュームの少ないものにする。【添付の検討案ご参照方】

イ)訓練項目の充実・変更を行う。(失速、スピン、アウトランディング等)

ウ)個人用の進捗管理表(飛行記録表)を作成する。(現シラバスの「評価記録表」に代わるもの) 練習への意識付け、合同合宿や他校合宿へ参加の際の技量把握のために有用) 【添付の検討案ご参照方】

今後の進め方

- ・ 上記 を7月末までに実施し、学連へ答申する。
- ・ 学連で審議のうえ制定。全支部へ使用の徹底を図る。
- ・ 本シラバスに沿って練習することを、自家用操縦士指定養成施設入所、または航空局実地試験受験の要件とする。

(2) 教官講習会の開催(認定指導員更新研修会議の充実化)

訓練シラバスの目的、運用要領、教育実施要領等を各教官へ理解してもらうため、認定指導員更新研修会議の場を利用し、講習を実施します。

特に教育実施要領を共通化すべき重要項目として「失速、スピン、サブG」があり、学連の統一要領を早期に定め、要領の配布と講習会開催を行う必要があります。

また、夏合宿へ向けた注意事項なども書面による注意喚起と併せて講習会で取り上げます。

(3) その他トレーニング体制の共通化

ピスト・マニュアルの共通化

安全確保のレベルを均質化するためには、ピスト運営の統一化が必要です。これまで各校の自主運用に委ねられて来ましたが、合同合宿や4連ウインチ使用による同時飛行機数の増加への対応、及び気象条件変化への対応要領などにつき、各校共通の考え方と運営を図るため、ピスト・マニュアルの共通化が必要です。

各校が使用しているものを持ちより、学生も参加して検討・制定することとします。(滑空場別のローカル・ルールは、他支部と連携しながら個別に検討)

操縦教本の制定

訓練シラバスは、操縦教本(学課全般を含む)、教官の教育マニュアルと3点セットで運用されるべきものと考えます。それぞれが相互に関連付けられている必要があり、また法改正や機材の進歩に対応して常に最新の状態に見直されることが求められます。

教官の教育マニュアルは同WGで検討されていますので、操縦教本の制定が別に必要です。

今年度すぐの制定は難しいため、学連75周年事業として検討委員会を立上げることとします。

以 上